

授業科目名	教職表現力演習Ⅱ (2100302)		
時間割名	教職表現力演習Ⅱ (52106)		
時間割担当	大淵裕美		
実施期	通年	単位数	1 選択
曜日・時限	金・2		

■授業の目標・概要

本授業では、1年次で履修した教職表現力演習Ⅰを受け、主に「文章表現力」「日本語表現力」の修得を目的とする。具体的には、テキストを用いながら、敬語、文章表現、文書等の書き方、分析・考察の仕方などを学修する。これらを通じて、幼稚園教諭・保育士として、幼児をはじめとする他者に対して、物事をわかりやすく伝える表現力の醸成を目指す。この力は、3年次以降の学修につなげる。

■学習の到達目標

- ・大学生・社会人として求められる日本語のルールを理解することができる。
- ・幼稚園教諭・保育士として必要な文章表現に関わる知識を獲得し、知識に基づいた応用的な実践を行うことができる。

■授業方法・形式

教科書を用いた講義・演習形式で行う。

■授業計画

<前期>

第1回 ガイダンス

第2回～第7回 情報発信力アップ

表記と言葉遣い、情報を整理して示す、情報を確実に伝える、情報を正確につたえる

第8回～第13回 コミュニケーション力アップ

読みやすい文章を書く、相手に合わせて表現する、配慮して伝える、丁寧に伝える

第14回 アピール力アップ

自分を表現するー自己PR

第15回 まとめ

<後期>

第1回 ガイダンス

第2回～第4回 アピール力アップ

わかりやすい文章を書く、アカデミックな文章を書く、企画をアピールする

第5回～第12回 ミニ論文にチャレンジしよう

論文の作法復習、論拠を示す、文献から引用する、図表を利用する、ミニ論文を仕上げる

第13回・第14回 プレゼンテーション

プレゼンテーションを行い、ミニ論文の最終チェックをしよう

第15回 まとめ

■成績評価の基準

グループワーク・授業への貢献度 (20%)

課題・小テスト (30%)

プレゼンテーション (20%)、ミニ論文 (30%)

■準備学習・復習及び授

次回授業の範囲の予習や小テスト、発表の準備、最終課題作成等の予習・復習などが必要となる。

■履修上のアドバイス及

本講義で身につける知識を日常生活や他科目の学修などに積極的に導入し、実践することを勧める。

■教材・教科書

野田春美・岡村裕美・米田真理子・辻野あらと・藤本真理子・稲葉小由紀、2016『グループワークで日本語表現力アップ』ひつじ書房。

■参考書

授業時に適宜紹介する。